

特定行為研修の概要

四国こどもとおとなの医療センターにおける看護師特定行為研修の理念

国立病院機構は、急性期医療からセーフティネット分野の医療を担い地域医療に貢献しています。四国こどもとおとなの医療センターは、チーム医療のキーパーソンである看護師が、国民並びに医療関係者から期待される役割を担うため、医療機関や在宅において高度で良質な特定行為を実践できる基礎的能力を養う基盤を構築することを目指します。また、研修修了後も自己研鑽を重ね、医学的視点と看護学的視点を合わせもつ人材として、安全で質の高い看護の提供を探索し続ける医療人の育成に貢献していきます。

特定行為研修の目的・目標

<研修目的>

慢性期及び在宅の医療現場において、高度で良質な特定行為を実践するために必要な判断力・実践力と、専門職として自立してケアを提供し、チーム医療のキーパーソンとして組織で貢献できる能力を合わせ持つ看護師を育成する。

<研修目標>

- 1) 対象の病態の変化や疾患・治療について包括的かつ迅速に臨床判断する能力を身につける。
- 2) 医師の手順書による指示のもと、特定行為を安全に実践する能力を身につける。
- 3) 多職種と連携し、対象の問題解決に向け効果的に協働する能力を身につける。
- 4) 高い倫理観と医学的視点をもつ看護師として、リーダー役割が発揮できる能力を身につける。

研修期間

研修期間 令和7年5月8日(木)～令和8年3月13日(金)

※ 受講コースによって研修修了日が異なります

研修受講資格 (以下の各号をすべて満たしていること)

- 1) 日本国内の看護師国家試験における看護師免許を有する者
- 2) 看護師免許取得後、5年以上の看護師実践経験を有する者
- 3) 所属施設長の推薦を有する者 (推薦基準を参考にして下さい)

【推薦基準】

- ① 心身ともに健康で、組織規範を遵守できる
- ② 個別性を重視した看護を実践できる
- ③ 看護実践者として、後輩に支援的役割を果たせる
- ④ チームリーダーとしての役割行動がとれる

研修内容

1) 共通科目 (必修)

科目名	履修時間
臨床病態生理学	3 1 時間
臨床推論	4 5 時間
フィジカルアセスメント	4 5 時間
臨床薬理学	4 5 時間
疾病・臨床病態概論	4 1 時間
医療安全学 / 特定行為実践	4 5 時間
小 計	2 5 2 時間

* 共通科目は、講義・演習・実習・試験 (筆記試験・実習の観察評価) にて構成

* 講義はeラーニングで、演習・実習はeラーニング利用とスクーリングを実施

* 指定研修機関において「共通科目」全てを履修している場合は、規程に基づき免除

2) 在宅・慢性期領域パッケージ

特定行為区分名	特定行為名	履修時間	症例数
呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連	気管カニューレの交換	1 2 時間	5 症例
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル 又は胃ろうボタンの交換	2 0 時間	5 症例
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない 壊死組織の除去	3 1 時間	5 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与 関連	脱水症状に対する輸液による補正	1 3 時間	5 症例

*指定研修機関において上記に該当するいずれかの「特定行為区分」を履修している場合は、規程に基づき免除

3) 区分別科目

特定行為区分名	特定行為名	履修時間	症例数
呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する 鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱 	3 7 時間	各行為 5 症例
血糖コントロールに係る薬剤投与 関連	インスリンの投与量の調整	1 8 時間	5 症例

*区分別科目は、講義・演習・実習・試験（筆記試験、実技試験、実習の観察評価）にて構成

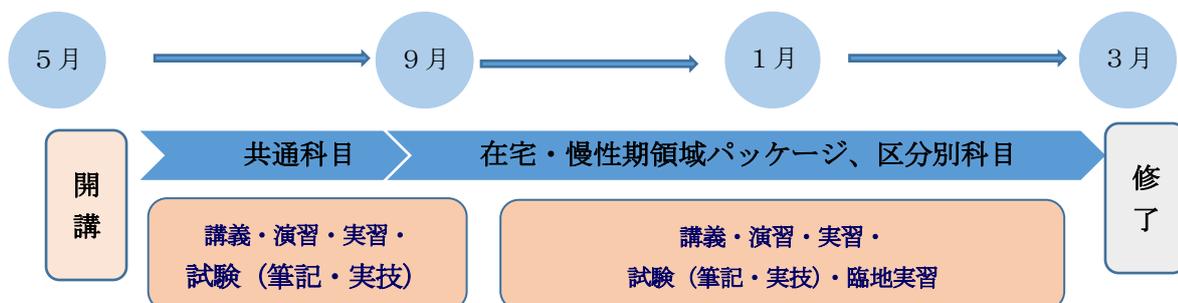
*講義はeラーニングで、演習・実習はeラーニング利用とスクーリングを実施

- 定員**
- ①在宅・慢性期領域パッケージ 3名
 - ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 3名
 - ③血糖コントロールに係る薬剤投与関連 3名
- ※ 領域パッケージと区分別科目の併願可能

受講料

共通科目	200,000円
在宅・慢性期領域パッケージ（4行為）	250,000円
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	160,000円
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	60,000円

研修実施進度



研修場所・実習場所

独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター

上記以外に、臨地実習協力施設として2か所の医療機関で実習を行うことがあります

その他

1) 履修免除について

他の指定研修機関において「共通科目」及び「区分別科目」の各科目を履修し修了している場合は規程に基づき免除されます。

他の大学・研修等での履修学習の読み替えは、当研修では予定しておりません。

2) 職員宿舎の利用について

自宅から通うことが困難で入居を希望する者は、職員宿舎が利用できます。希望者多数の場合は、選考させていただきます。ご希望の方は、お問合せ下さい。（担当者：管理課庶務係長）